

この度、『順天堂だより』No.300 という節目の号に寄稿する機会をいただき感謝します。医学部後援会は今後も継続して『順天堂だより』に活動方針、活動内容を報告させていただきます。

6月には大阪北部に震度6弱の地震が発生し、登校中の小学生が犠牲になりました。7月には西日本を中心に記録的な豪雨が甚大な被害をもたらしました。多くの方が亡くなり、家屋の倒壊、浸水で避難を余儀なくされ、今だ4,000人以上の方々が避難生活を強いられています。被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。豪雨の後は日本列島が長期間異常高温となり毎日35度以上、なかには40度を超えた地域もあり全国に熱中症注意報が出されました。被災地ではこの猛暑のなか多くのボランティアが復旧活動に参加されており、共助の素晴らしさに心打たれました。

異常気象、地震活動の活発化等、災害はいつどこで起こるかも判りません。自助、共助、公助といわれますが、まず自分自身、家族を守ることが第一です。そのためには常日頃から災害に備えておかねばならないと改めて再認識された方も多いと思います。

さて、この猛暑の中でも順天堂大学箱根駅伝チームは10月13日(土)に開催される第95回箱根駅伝2019予選会に向かって走り込んでいると思います。順天堂ファミリーは毎年1月2、3日の両日は箱根駅伝のテレビ中継に釘付けになって応援していることでしょう。医学部後援会は毎年僅かではありますが用途指定寄付をさせていただいています。来年も濃紺のユニホームに白と赤のストライプの襷が箱根路を走る姿が目につかびます。選手の方々にはぜひ頑張って頂きたいと思っています。

後援会では会員子弟への活動支援として平成22年から毎年『学術奨励賞』を募集しています。順天堂大学医学部卒業後10年前後の方で、地域医療活動や学術研究などに優れた実績を示された方を褒賞するもので、現在まで13名の方が受賞されています。皆さまのご応募をお待ちしております。

また、後援会は大学・同窓会・保護者会との連携を重視し、毎年開催される大学と三会(同窓会・保護者会・後援会)合同の会に積極的に参加して情報を共有しています。今年は8月6日(月)に開催され、藤巻会長、中村副会長、三留監事が出席しました。

後援会は藤巻会長を中心に役員一同協調して、卒業生と学生活動を支援し、大学との関係強化を図って参ります。